

1. 背景

本市の目指す職員像は、「誇りを胸に仕事に取り組む職員」「多様な主体と協働する職員」「新しいことに果敢に挑戦する職員」「互いの価値観を尊重して共に成長する職員」である。この職員像に合致した高い意欲と資質を有した有為な人材の獲得が求められている。

一方で、若年人口の減少や就労意識の多様化等を背景に民間企業や国及び他の地方公共団体等との競合の下、本市職員採用試験の受験申込者数は減少傾向にあり、厳しい採用状況が続いている。

また、大学3年生の夏までに、各企業等の業態や業務内容について理解を深めることを目的として、オープン・カンパニーやインターンシップ等へ参加する学生が増えており、学生のキャリア形成活動に対する意欲の高まりと就職活動の早期化が顕著となっている。

そこで、今回の2027 仙台市職員採用特設ウェブサイト及び職員ガイドは、採用試験の受験へ導く媒体ではなく、これから就職先を検討する新たな層に対し、本市職員としての仕事の内容、やりがい、活躍できるフィールド、働きやすさ、ワーク・ライフ・バランス等についてより具体的に提示し、仙台市役所で働く魅力を伝えることで、仙台市職員として働くことのイメージアップを図るための媒体として制作するものである。

2. 目的

- (1) 「仙台市役所で働くことの魅力」を多角的な視点からアピールする。
- (2) 職員が携わる仕事は、多種多様であり、人事異動等を通じて様々な業務経験を積むことで視野を広げ、自身の能力と個性を磨くことができるということを知ってもらう。
- (3) 市職員としてのやりがいを読者に伝えることで、社会貢献度の高い業務内容であるということを示す。
- (4) 時差出勤や各種休暇制度等を活用しながらワーク・ライフ・バランスの充実を積極的に推進しており、職場環境が整っていることを認知してもらう。

3. ターゲット層

- (1) メインターゲット層

仙台市に関心のある若年層（17 歳～21 歳）で、公務員志望者に限らず、民間企業志望者も含めて就職を検討している者。

- (2) サブターゲット層

20 代～40 代前半を中心とした仙台市近郊への転職を検討している者。

4. 制作上の留意点

- (1) 職種紹介の記事では、各職種1 つにつき1 ウェブページを使用（事務職については新卒採用者と民間企業等からの転職者各1 ページずつ、計2 ページ）し、適切に情報を盛り込むことで、各職種のやりがいや魅力を効果的にアピールすること。
- (2) 「2026 仙台市職員採用特設ウェブサイト及び職員ガイド等」とは異なるデザインのものを制作すること。
- (3) 職員ガイドは国からの要請に基づく「就職・採用に関する広報活動開始日」以前の学生等に対しても配布を行うため、「職員募集」「一緒に働きましょう」等採用活動と捉えられる表現は使用しないこと。